

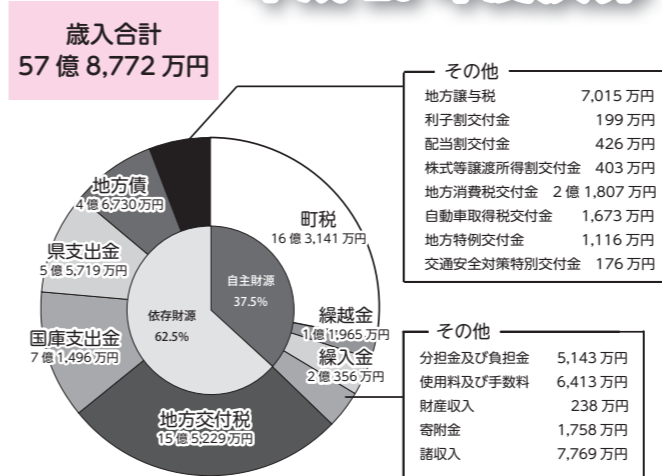
財政公表

今月号では、鏡石町財政状況の作成及び公表に関する条例の規定により、平成30年度上半期の予算状況及び9月定例議会で認定された平成29年度決算の内容について一般会計を中心にお知らせします。

財政用語の解説

- 【一般会計】**
町の中心となる会計で、行政を運営するための基本的な経費を計上した会計のこと。
- 【公債費】**
事業を行うために借入れたお金（町債）の元金・利子や一時借入金の利子を支払うお金。
- 【普通建設費】**
道路、学校などの建設・整備に使われるお金。
- 【繰入金】**
各種基金の取り崩しや特別会計などから繰り入れるお金。
- 【繰出金】**
各種基金や特別会計などへ繰り出されるお金。
- 【地方交付税】**
自治体の財政力に応じて国から交付されるお金。
- 【町債】**
国や銀行などからの借入金。
- 【扶助費】**
社会保障制度の一環として、子どもや高齢者などに対して使われるお金。

平成29年度決算



震災以降引き続く大規模決算

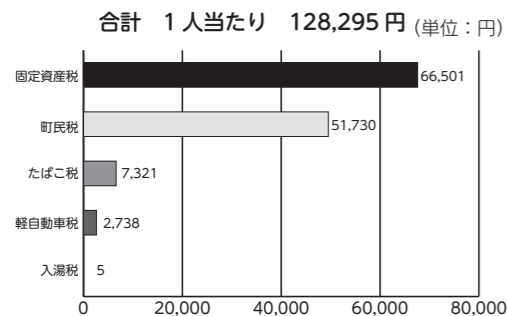
平成29年度の一般会計決算は、平成28年度で除染事業が終了したことなどから、57億8,772万円と昨年年度決算額と比べて5億2,025万円減少しました。しかし、道路等側溝堆積物撤去等を実施したことから、依然として震災前を上回る決算となっています。

歳出の主な内容は、町民プール「すいすい」の機械設備改修工事で1億4,227万円、鏡石まちの駅「かんてん」設置事業で1億4,441万円が挙げられます。

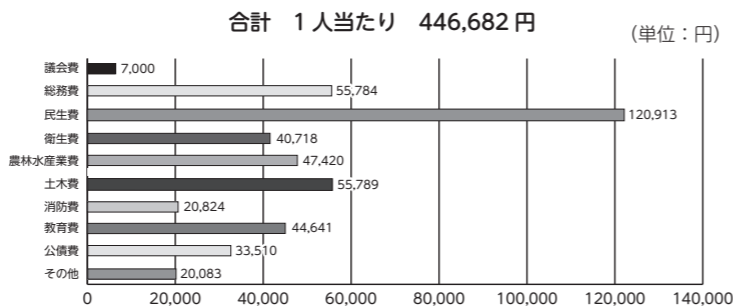
一方、歳入の主な内容は、町民の皆さんから納めていただいた町税16億3,141万円、国から交付される地方交付税15億5,229万円、県支出金5億5,719万円などになります。町税の歳入に占める割合は、28.2%となっています。

また、公債費については、昨年度と比べ3,533万円（繰上償還額を除く）減少し、年々減少してきているものの

町民1人当たりの納めたお金



町民1人当たりに使われたお金



各会計町債残高の状況 (町の借金残高)

会計区分	町債残高
一般会計	51億3,964万円
鏡石駅東第1土地区画整理事業特別会計	2億6,178万円
公共下水道事業特別会計	33億1,630万円
農業集落排水事業特別会計	3億9,096万円
上水道事業会計	17億3,830万円
合計	108億4,698万円

平成29年度末現在

平成29年度各会計決算状況

会計区分	歳入	歳出
一般会計	57億8,772万円	56億7,997万円
国民健康保険特別会計	16億9,838万円	15億9,569万円
後期高齢者医療特別会計	1億224万円	1億177万円
介護保険特別会計	10億227万円	9億8,771万円
土地取得事業特別会計	3,005万円	3,000万円
工業団地事業特別会計	1億674万円	1億645万円
鏡石駅東第1土地区画整理事業特別会計	1億9,814万円	1億9,631万円
育英資金貸付費特別会計	597万円	597万円
公共下水道事業特別会計	5億322万円	5億28万円
農業集落排水事業特別会計	7,059万円	6,979万円
小計	95億532万円	92億7,394万円
上水道事業会計	5億4,482万円	5億5,617万円
合計	100億5,014万円	98億3,011万円

※上水道事業会計の資本的収入額が資本的支出額に不足する額は、過年度分損益勘定留保資金等で補てんした。

基金積立金現在高の状況 (町の貯金残高)

基金区分	現在高
財政調整基金	7億9,431万円
減債基金	4,082万円
役場庁舎新築事業基金	8億1,030万円
東日本大震災復興交付金基金	2,951万円
その他	9億4,408万円
合計	26億1,902万円

平成30年5月31日現在

平成30年度各会計現計予算状況

会計区分	予算現計
一般会計	63億3,784万円
国民健康保険特別会計	13億5,771万円
後期高齢者医療特別会計	1億614万円
介護保険特別会計	9億9,514万円
土地取得事業特別会計	3,005万円
工業団地事業特別会計	4,742万円
鏡石駅東第1土地区画整理事業特別会計	1億3,999万円
育英資金貸付費特別会計	512万円
公共下水道事業特別会計	5億1,151万円
農業集落排水事業特別会計	7,190万円
小計	96億282万円
上水道事業会計	6億4,595万円
合計	102億4,877万円

平成30年度上半期予算状況

平成30年度予算については、昨年度から引き続き、道路等側溝堆積物撤去処理事業5億4,263万円、原子力災害対策補完事業9,170万円といった原子力災害対策事業を実施しており、震災以降引き続いて大規模な予算となっています。

その他の主な歳出内容は、橋りょう、道路等の整備を行う社会資本整備総合交付金事業として1億6,131万円



側溝の堆積物撤去作業の様子

円、駅東口整備を行う進化する鏡石実行プロジェクトとして2,185万円、町立幼稚園屋根改修工事として1,890万円、町内防犯灯のLEDへの一斉切替えを行うLED防犯灯導入事業として525万円を計上しています。

鏡石町の財政健全化判断比率の公表

財政健全化判断比率の状況

指標	健全化判断比率	早期健全化比率
①実質赤字比率	-	15.0%
②連結実質赤字比率	-	20.0%
③実質公債費比率	9.3%	25.0%
④将来負担比率	39.4%	350.0%

※平成29年度決算に基づく数値

【健全化判断比率】

- ①実質赤字比率**
一般会計などの実質収支が黒字のため該当なし。
- ②連結実質赤字比率**
一般会計などに公営企業会計を含めた実質収支が黒字のため該当なし。
- ③実質公債費比率**
標準財政規模に対する一般会計などが負担する元利償還金などの割合は、9.3%で前年度に比べ0.7ポイント減少。
- ④将来負担比率**
標準財政規模に対する一般会計などが将来負担すべき実質的な負債の割合は、39.4%と前年度に比べ12.1ポイント増加。

町債残高は、新規借入により7,570万円増加しました。今後、も計画的な財政運営をしていく必要があります。